



地域調整課長辻脇から説明

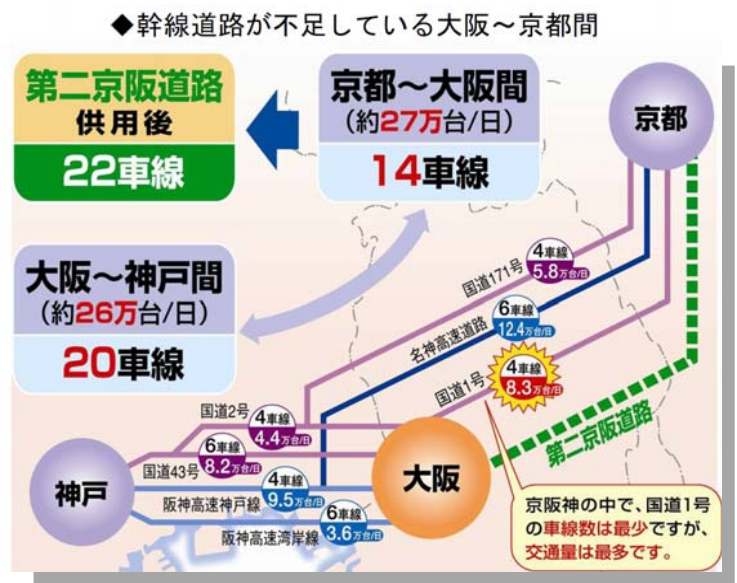
「京阪間の旅客・貨物輸送」について、取材依頼があり、平成25年5月22日筑波大学附属駒場高等学校2年生の生徒さん(7名)が来所され、プレゼンテーションをさせていただきました。

【主な内容】

- ①交通の流れと道路計画、国道の役割
- ②道路が抱える問題(渋滞、事故等)と対応
- ③国道の整備状況や管理(耐震、老朽化)

【説明を受けた生徒さんの感想】

一般国道は、道路渋滞の逼迫や環境問題などにより、近年鉄道や高速道路(高速自動車国道)にその役割を譲りつつあります。しかし、今回の取材を通して、京阪間に留まらず、大阪のひいては全国の一般国道が日本の交通網に必要不可欠な存在であるかを理解することができました。今後の京阪間の道路状況についても、関心をもって見続けていきます。



プレゼンテーションの一例

■道路計画、渋滞対策の例として第二京阪道路の効果を説明